



★ロータリー財団月間

- それは ロータリー財団とは何かをもう一度考えてみる月
- それは ロータリー財団プログラムについて知識を深める月
- それは ロータリー財団の輝かしい歴史(実績)を振り返る月
- それは 私たちとロータリー財団プログラムとの関わりについて考える月
- そして ロータリー財団の恩恵を受けているのは私たちが、ロータリー財団をどう支えるかを考える月です

★ロータリー財団月間には

クラブ財団委員会が中心となって、①財団フォーラム ②ロータリー財団のプログラムについての卓話 ③情報集会 などを通して理解を深めて下さい。

1. ロータリー財団のおおまかな歴史

【1917年】RI第6代会長アーチ・クランフがアトランタの国際大会で「基金を作り、世界的規模で慈善・教育・その他社会的奉仕の分野で何か良いことをしよう」と呼びかけたことに始まります。

【1928年】基金が集まり「ロータリー財団」と名付けられ国際ロータリーとは別機関として歩み始めました。

【1947年】ポール・ハリス没。この年多額の寄付金がロータリー財団に集まりました。この年初めて国際親善奨学生が派遣されましたが、これがロータリー財団プログラムの第1歩でした。

【1965年】マッチング・グラントの前身がスタートしました。このあと35年間かかって、2000年にマッチング・グラントの申請件数は1万件に達しましたが、この後はたった4年間でそれは1万件に達してしまいました。

【1985年】ポリオ・プラス・プログラムが発足しました。

【2005年】ロータリー財団「未来の夢計画」FVP: Future Vision Plan 構想が始まりました。

【2010年】ポリオ撲滅のための「ロータリー2億ドルのチャレンジ」が始まりました。また7月から3年計画で世界100地区によるFVPのための試験期間が開始されました。

【2013年】「未来の夢計画」FVPによる新しい補助金制度が開始されます。

2. ロータリー財団はロータリアンからの寄付金が、最

も効果的にロータリー財団の目的に沿った形でロータリアンによって利用されるために、財団プログラムを提供しています。

3. 財団プログラムとは

- ①ポリオ・プラス (ポリオ撲滅活動) : ロータリー2億ドルのチャレンジ
- ②人道的プログラム
 - i. 災害支援 例: ロータリー東日本震災復興基金
 - ii. 地区補助金
 - iii. マッチング・グラント
- ③教育的プログラム
 - i. 国際親善奨学金
 - ii. 研究グループ交換 (GSE: Group Study Exchange)
 - iii. ロータリー平和フェロウシップ

ロータリアンは、これらのプログラムに積極的に関わることが大切です。関わることによって寄付金が如何に有効利用されているかが、見えてきます。

4. ロータリー財団は皆様の寄付金で成り立っています。

ロータリー財団が無ければ、私たちは効果的な奉仕活動を行うことが出来ません。私たちの寄付金が無ければ、ロータリー財団プログラムは存在し得ません。互いに支え合う存在です。

5. ロータリー財団への寄付は公益財団法人ロータリー日本財団を通して行えば、税制上の優遇措置が受けられます。(現金振込みに限る)

6. ロータリー財団への寄付

- ①年次プログラム基金 (年次寄付) 年間150ドル以上
- ②恒久基金 毎年1クラブ1名以上
- ③使途指定寄付 (ポリオ・プラスや災害復興基金への寄付)

いずれも通過寄付で、ロータリー財団に貯蓄はされません。

ポリオ・プラスへの寄付は全てGPEI (Global Polio Eradication Initiative) に投入されます。GPEIはRI, WHO, UNICEF, CDCにより構成されています。各国政府の支援金もGPEIに投入されます。

7. これから私たちは2013-14年度から始まるFVPに基づく新補助金制度について研修を重ね、習得する必要があります。